

地 域

庄 内

団体名

学校法人羽黒学園 羽黒高等学校

活動地

鶴岡市羽黒町川代字東増川山

団体紹介

建学の精神「産学一体」。
産業界と学校が連携し「社会を生きぬく力を持つ人」を育てる。

平成29年に完成した羽黒高等学校の校舎は、学校の創設期に生徒たちが植林した学校林と、それに隣接する学校創設者の関連企業が所有する森林から切り出された木材を使用して建設された。現在、高校に通っている生徒たちにも学校林の植林や保全活動を体験してもらうことで、先輩たちの思いを学び、また、環境保全への意識を高め、次世代へ引き継いでいくことを目的としています。

活動内容

開催日：令和3年10月7日（木）

136人（生徒121名、教職員11名、指導スタッフ4名）で植林作業を行った。

杉苗の植樹 200本/竹支柱 200本/誤伐防止テープ結び



↑森林組合の人から
作業の説明を聞きます。



↑ディブルをつかって穴を掘り、
ポット苗を植えます。



↑誤伐防止テープを
結びます。

活動を行っての感想

先輩たちが植林した木を利用して、新校舎を建設したということを知り、使用された学校林に携わった人たちの思いを感じた。自分たちが植林した杉木が、また50年後に利用されることを願わずにはられない。今後も、森林保全を体験しながら、意識を高め、地域の森林保全につなげていきたい。